



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 DOWAホールディングス株式会社

コード番号 5714

URL <https://www.dowa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関口 明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 細野 浩之 (TEL) 03-6847-1106

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	370,759	△7.7	14,263	△52.5	21,827	△40.9	13,185	△42.0
2023年3月期第2四半期	401,826	△5.1	30,044	△20.9	36,939	△22.2	22,736	△30.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 26,750百万円(△32.4%) 2023年3月期第2四半期 39,561百万円(△5.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第2四半期	221.52	—	—	—
2023年3月期第2四半期	382.06	—	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	635,769	378,588	56.8
2023年3月期	655,282	360,603	52.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 361,353百万円 2023年3月期 344,893百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年3月期	—	—	—	130.00	130.00	—
2024年3月期	—	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	110.00	110.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 105円00銭 特別配当 25円00銭

2024年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 110円00銭

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	705,000	△9.6	23,000	△48.4	35,000	△36.9	23,000	△8.2	386.40	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※当期の連結業績予想の詳細につきましては、本日公表の「第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	61,989,206株	2023年3月期	61,989,206株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,453,197株	2023年3月期	2,469,762株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	59,524,198株	2023年3月期2Q	59,509,748株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報)	12
3. 補足情報	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの事業の状況につきましては、自動車生産が回復に向かい、自動車関連製品及びサービスの受注が増加しました。情報通信関連製品は中国経済の停滞等により販売が減少しました。また、新エネルギー関連製品は太陽光パネル向けの堅調な需要を受けて、当社製品の販売は増加に転じました。環境・リサイクル関連サービスは廃棄物処理の受注が堅調でした。相場環境につきましては、前年同期と比較して平均為替レートは円安ドル高となりましたが、銅、亜鉛及びPGM（白金族金属）の平均価格は大幅に下落しました。一方で、エネルギー価格の高騰や資材価格の上昇を受け、電力代、燃料費及び副資材費等のコストは前年同期と比較して増加しました。

このような状況の中、当社は企業価値の向上と持続可能な社会の実現への貢献に向け、「循環型ビジネスモデルの進化」と「サステナビリティ・マネジメントの強化」を「中期計画2024」の基本戦略とし、引き続き5つのコアビジネスのさらなる強化と経営基盤の充実化のための諸施策を着実に推進しています。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比7.7%減の370,759百万円、営業利益は同52.5%減の14,263百万円、経常利益は同40.9%減の21,827百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は同42.0%減の13,185百万円となりました。

主要セグメントの経営成績は次のとおりです。なお、表中の「前第2四半期連結累計期間」は2022年4月1日から2022年9月30日まで、「当第2四半期連結累計期間」は2023年4月1日から2023年9月30日までです。

## 環境・リサイクル部門

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減	増減率
売上高	71,510	72,704	1,193	1.7%
営業利益	5,248	5,571	322	6.1%
経常利益	5,835	5,900	64	1.1%

廃棄物処理事業では焼却の処理量及び処理単価は堅調に推移しました。また、溶融・再資源化の処理量は増加しました。土壌浄化事業では土壌浄化や不燃性廃棄物の再資源化の受注が堅調に推移しました。リサイクル事業では当社製錬所向けのリサイクル原料の集荷量は増加し、家電リサイクルの処理量は減少しました。東南アジア事業では廃棄物処理の受注が前年同期を下回りました。一方で、エネルギー価格の高騰や資材価格の上昇を受け、燃料費や副資材費等のコストが増加しました。また、営業外損益では外貨建債権の為替換算差益を計上しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比1.7%増の72,704百万円、営業利益は同6.1%増の5,571百万円、経常利益は同1.1%増の5,900百万円となりました。

## 製錬部門

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減	増減率
売上高	224,637	185,221	△39,416	△17.5%
営業利益	17,761	4,820	△12,940	△72.9%
経常利益	23,577	9,510	△14,066	△59.7%

貴金属銅事業では金、銀及び銅の生産量が減少しました。PGM事業では使用済み自動車排ガス浄化触媒からの金属回収量が増加したものの、PGMの平均価格が前年同期比で大幅に下落した影響を受けました。また、デリバティブ評価損失が拡大しました。亜鉛事業では亜鉛の生産量は前年同期を下回りました。また、電力代等のエネルギーコストが大幅に増加しました。一方で、亜鉛の棚卸資産の簿価切下額による損失幅は縮小しました。営業外損益では海外亜鉛鉱山の運営会社において持分法投資利益を計上しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比17.5%減の185,221百万円、営業利益は同72.9%減の4,820百万円、経常利益は同59.7%減の9,510百万円となりました。

## 電子材料部門

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減	増減率
売上高	75,629	83,994	8,365	11.1%
営業利益	2,848	577	△2,270	△79.7%
経常利益	3,874	1,780	△2,094	△54.1%

半導体事業ではウェアラブル機器向けの近赤外LED及び受光素子（PD）の販売が減少しました。電子材料事業では太陽光パネル向け銀粉の販売は前年同期比で減少したものの、堅調な需要を受けて当第2四半期連結会計期間から増加に転じました。一方で、半導体事業と電子材料事業では、平均為替レートが前年同期比で円安ドル高となったことが業績に寄与しました。機能材料事業では磁性粉の販売が低調に推移しました。また、営業外損益ではサンプル収入が増加しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比11.1%増の83,994百万円、営業利益は同79.7%減の577百万円、経常利益は同54.1%減の1,780百万円となりました。

## 金属加工部門

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減	増減率
売上高	58,572	55,000	△3,572	△6.1%
営業利益	3,256	1,930	△1,326	△40.7%
経常利益	3,495	2,128	△1,366	△39.1%

伸銅品事業では当社の自動車向け製品の販売は前年同期比で減少したものの、自動車生産が回復に向かう中で、サプライチェーンにおける部品在庫圧縮の動きが緩和されたことを受け、当第2四半期連結会計期間から販売が増加に転じました。情報通信関連製品の販売は中国経済の停滞等により減少しました。また、デリバティブ評価益が縮小しました。めっき事業では自動車向けの需要が堅調に推移しました。回路基板事業では産業向けの販売が堅調に推移しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比6.1%減の55,000百万円、営業利益は同40.7%減の1,930百万円、経常利益は同39.1%減の2,128百万円となりました。

## 熱処理部門

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減	増減率
売上高	13,299	14,879	1,580	11.9%
営業利益	436	897	460	105.5%
経常利益	790	1,386	595	75.4%

熱処理事業では自動車生産の回復に伴い熱処理受託加工の需要が上向いたことから、国内外における受注が増加しました。また、コストの増加に対する一時金収入が一部の顧客からありました。工業炉事業では設備販売及びメンテナンスの需要が前年同期を上回りました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比11.9%増の14,879百万円、営業利益は同105.5%増の897百万円、経常利益は同75.4%増の1,386百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して19,512百万円減少し635,769百万円となりました。流動資産で36,746百万円の減少、固定資産で17,233百万円の増加となります。

流動資産の減少は、原材料及び貯蔵品の減少38,563百万円、商品及び製品の減少21,830百万円、流動資産のその他の減少10,726百万円及び、現金及び預金の増加37,958百万円等によるものです。固定資産の増加は、有形固定資産の増加14,179百万円、投資有価証券の増加2,961百万円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較して37,497百万円減少しました。これは、コマーシャル・ペーパーの減少17,000百万円、社債の減少10,000百万円、長期借入金の減少4,423百万円及び、流動負債のその他の減少3,743百万円等によるものです。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益が13,185百万円となり、配当金の支払い等を行った結果、株主資本が4,397百万円増加しました。また、為替換算調整勘定やその他有価証券評価差額金の増加により、その他の包括利益累計額が12,062百万円増加した結果、純資産合計では前連結会計年度末と比較し17,985百万円増加しました。この結果、自己資本比率は56.8%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より36,700百万円増加し74,460百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は93,088百万円の収入（前年同期比66,955百万円収入増）となりました。主に、税金等調整前四半期純利益21,379百万円、棚卸資産の減少59,860百万円、及び減価償却費11,723百万円等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は16,823百万円の支出（前年同期比742百万円支出増）となりました。主に、有形固定資産の取得による支出16,857百万円、無形固定資産の取得による支出1,043百万円、及び関係会社の有償減資による収入2,101百万円等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は42,300百万円の支出（前年同期比39,428百万円支出増）となりました。主に、有利子負債の減少24,084百万円、社債の償還による支出10,000百万円、及び配当金の支払7,954百万円等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期（2023年4月1日～2024年3月31日）の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び足元の事業環境、相場環境を勘案し前回予想を見直しました。詳細につきましては、本日公表の「第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,818	76,777
受取手形、売掛金及び契約資産	89,527	84,526
商品及び製品	64,236	42,405
仕掛品	9,494	10,928
原材料及び貯蔵品	146,916	108,352
その他	30,234	19,507
貸倒引当金	△192	△210
流動資産合計	379,033	342,287
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	164,835	174,244
減価償却累計額	△92,519	△96,512
建物及び構築物（純額）	72,315	77,731
機械装置及び運搬具	296,412	301,469
減価償却累計額	△245,147	△249,065
機械装置及び運搬具（純額）	51,264	52,404
土地	25,979	28,107
建設仮勘定	19,327	24,496
その他	21,111	22,512
減価償却累計額	△16,776	△17,850
その他（純額）	4,334	4,661
有形固定資産合計	173,222	187,401
無形固定資産		
のれん	2,667	2,472
その他	8,481	9,106
無形固定資産合計	11,149	11,579
投資その他の資産		
投資有価証券	78,794	81,756
長期貸付金	3,531	3,959
繰延税金資産	6,456	5,475
その他	3,183	3,398
貸倒引当金	△88	△88
投資その他の資産合計	91,876	94,500
固定資産合計	276,248	293,481
資産合計	655,282	635,769

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,042	49,049
短期借入金	26,951	24,450
コマーシャル・ペーパー	35,000	18,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	5,457	3,173
未払消費税等	2,368	2,723
引当金		
賞与引当金	5,544	5,371
役員賞与引当金	405	203
引当金計	5,949	5,575
借入地金	31,551	35,282
その他	39,839	36,096
流動負債合計	209,160	184,351
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	32,816	28,393
繰延税金負債	3,524	3,787
引当金		
役員退職慰労引当金	511	409
その他の引当金	260	175
引当金計	771	584
退職給付に係る負債	20,974	21,719
その他	7,430	8,344
固定負債合計	85,517	72,829
負債合計	294,678	257,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,437	36,437
資本剰余金	25,180	25,034
利益剰余金	263,503	268,020
自己株式	△5,037	△5,010
株主資本合計	320,084	324,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,017	19,204
繰延ヘッジ損益	△587	△2,985
為替換算調整勘定	10,644	20,031
退職給付に係る調整累計額	734	620
その他の包括利益累計額合計	24,808	36,871
非支配株主持分	15,710	17,234
純資産合計	360,603	378,588
負債純資産合計	655,282	635,769

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	401,826	370,759
売上原価	349,190	331,888
売上総利益	52,635	38,870
販売費及び一般管理費	22,591	24,607
営業利益	30,044	14,263
営業外収益		
受取利息	252	261
受取配当金	569	541
持分法による投資利益	2,715	4,061
為替差益	1,494	1,097
受取手数料	948	-
受取ロイヤリティー	858	1,208
有償サンプル代収入	526	959
その他	827	1,041
営業外収益合計	8,192	9,170
営業外費用		
支払利息	269	284
環境対策費	498	748
その他	530	573
営業外費用合計	1,297	1,606
経常利益	36,939	21,827
特別利益		
受取保険金	66	93
補助金収入	-	68
固定資産売却益	18	18
その他	14	44
特別利益合計	99	225
特別損失		
固定資産除却損	541	500
その他	51	172
特別損失合計	593	672
税金等調整前四半期純利益	36,445	21,379
法人税等	11,119	6,846
四半期純利益	25,326	14,532
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,589	1,347
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,736	13,185

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	25,326	14,532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△205	5,167
繰延ヘッジ損益	3,758	△2,406
為替換算調整勘定	6,026	6,923
退職給付に係る調整額	△16	△111
持分法適用会社に対する持分相当額	4,672	2,644
その他の包括利益合計	14,235	12,217
四半期包括利益	39,561	26,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,811	25,248
非支配株主に係る四半期包括利益	2,749	1,502

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	36,445	21,379
減価償却費	11,112	11,723
のれん償却額	250	250
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△5
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△332	△612
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	791	486
受取利息及び受取配当金	△821	△802
支払利息	269	284
為替差損益 (△は益)	△879	△1,105
持分法による投資損益 (△は益)	△2,715	△4,061
固定資産売却損益 (△は益)	△16	△10
固定資産除却損	541	500
売上債権の増減額 (△は増加)	11,575	6,065
棚卸資産の増減額 (△は増加)	9,665	59,860
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,928	△3,748
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2,575	324
借入地金の増減額 (△は減少)	△1,397	3,731
その他	△9,618	△2,225
小計	40,363	92,033
利息及び配当金の受取額	6,035	2,421
利息の支払額	△271	△243
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△19,994	△1,123
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,132	93,088
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△14,404	△16,857
有形固定資産の売却による収入	43	308
無形固定資産の取得による支出	△1,643	△1,043
投資有価証券の取得による支出	△151	△3
補助金の受取額	46	117
貸付けによる支出	△260	△3
貸付金の回収による収入	278	0
関係会社の有償減資による収入	-	2,101
その他	10	△1,443
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,080	△16,823

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,576	△3,051
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	12,000	△17,000
長期借入れによる収入	148	73
長期借入金の返済による支出	△4,770	△4,106
リース債務の返済による支出	△193	△231
社債の償還による支出	-	△10,000
自己株式の売却による収入	-	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△7,806	△7,808
非支配株主への配当金の支払額	△4,826	△146
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,871	△42,300
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,838	1,478
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,018	35,443
現金及び現金同等物の期首残高	35,740	37,760
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	63	1,256
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,822	74,460

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び国内連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	環境・リ サイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	計				
売上高										
外部顧客への売上高	41,856	213,590	73,467	58,508	13,297	400,720	1,105	401,826	—	401,826
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	29,654	11,047	2,161	64	1	42,929	5,492	48,422	△48,422	—
計	71,510	224,637	75,629	58,572	13,299	443,650	6,598	450,248	△48,422	401,826
セグメント利益又 は損失(△)	5,835	23,577	3,874	3,495	790	37,573	△86	37,487	△547	36,939

- (注) 1 「その他」の区分は、不動産の賃貸業、プラント建設業、土木工事業、建設工事業、事務管理業務、技術開発支援業務等、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にグループ間取引を含んでいます。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△547百万円には、各報告セグメントに配分していない営業外損益△742百万円(受取配当金、持分法投資損益及び支払利息等)、セグメント間未実現利益の調整額191百万円等が含まれています。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	環境・リ サイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	計				
売上高										
外部顧客への売上高	42,568	175,499	81,528	54,939	14,876	369,412	1,346	370,759	—	370,759
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	30,135	9,721	2,466	60	2	42,387	5,029	47,417	△47,417	—
計	72,704	185,221	83,994	55,000	14,879	411,800	6,376	418,176	△47,417	370,759
セグメント利益	5,900	9,510	1,780	2,128	1,386	20,706	94	20,800	1,027	21,827

- (注) 1 「その他」の区分は、不動産の賃貸業、プラント建設業、土木工事業、建設工事業、事務管理業務、技術開発支援業務等、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にグループ間取引を含んでいます。
- 2 セグメント利益の調整額1,027百万円には、各報告セグメントに配分していない営業外損益1,085百万円(受取配当金、持分法投資損益及び支払利息等)、セグメント間未実現利益の調整額△42百万円等が含まれています。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

## 3. 補足情報

補足情報を、四半期決算補足説明資料に記載していますのでご参照ください。四半期決算補足説明資料は、TDnetにて本日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載します。